

2019年度日韓海峡沿岸 観光プランづくり事業

事業概要等説明資料

日韓海峡沿岸県市道交流事業実行委員会
山口県事務局

1 事業の位置づけ

日韓 8 県市道の知事の合意により実施

日韓海峡沿岸県市道交流知事会議

- [設立] 1992年8月25日
- [参加地域] 日韓海峡沿岸 8 県市道
日本側：福岡県、佐賀県、
長崎県、山口県(1999年～)
韓国側：釜山広域市、全羅南道、
慶尚南道、済州特別自治道

[意義]
本会議は、地理的にも歴史的にも深い関係にある
両地域が、国境を越えて地域レベルでの広域的な友好
関係を築こうという構想のもとに始められたもの

- [会議内容]
- ▽ 両地域の発展と緊密な友好関係を促進するため、毎年1回定期的に知事が一堂に会しての会議を開催、両地域の交流の現状と今後の展望に関して率直な意見交換を行う
 - ▽ 各分野における交流を促進するため、会議において合意された様々な共同交流事業を実施

共同交流事業

水産関係交流

環境技術交流

広域観光連絡会議

海岸漂着ごみ清掃

グローバル人材育成
(2016,2017)

スポーツ(サッカー)交流
(2018,2019)

**観光プランづくり
(2018,2019)**

2 事業趣旨

観光プランをつくってインバウンド推進！

2019年度日韓海峡沿岸観光プランづくり事業

事業趣旨

2017年11月に、山口県長門市で開催した知事会議において、今後、連携してインバウンドの拡大に取り組むことで意見が一致

8 県市道の大学生の豊かな発想から生まれる新たな観光モデルルートを考案し、情報発信の強化などを目指して、友好関係を活かした取組を進めていくこととなった

若い発想力

×

国際交流

二 観光振興、インバウンドの促進

日韓海峡沿岸地域がそれぞれの観光資源を生かしながら連携し、インバウンドの増加や交流人口拡大をけん引

【世界各国、地域への外国人訪問者数ランキング（2015）】

順位	国	人数 (千人)
1	フランス	84,452
2	アメリカ	77,510
3	スペイン	68,215
4	中国	56,886
5	イタリア	50,732
16	日本	19,737
23	韓国	13,232

出展：国連世界観光機構
(UNWTO)

【2016年(2017.6時点)】

国	人数 (千人)
日本	24,039
韓国	17,242

約21%増

約28%増

2

3 事業概要①

2018度は日本側 4 県への観光プランを作成

期 間

2018年8月24日(金)～8月29日(水)

場 所

[1～3日目] 各県庁及び県内各観光施設等
(打ち合わせ、フィールドワーク等)
[4～6日目] 海峡メッセ下関 (発表等)

フィールドワーク

福岡県

佐賀県

長崎県

山口県



発表会

海峡メッセ下関
(山口県)



3 事業概要②

2019年度は韓国へのインバウンドを推進！

事業概要

- 日韓の大学生がグループで、観光プラン（観光モデルルート）をプランニング
- 旅行会社業者をはじめ、幅広いステークホルダーを集めて発表会を開催
- 2018年度の日本側開催に続き、2019年度は韓国側で開催
⇒ 韓国へのインバウンド（日本からのアウトバウンド）の推進に取り組む



期 間 8月24日(土)～8月27日(火) 3泊4日間

場 所 [1～3日目] 韓国側4市道（フィールドワーク、プラン作成等）
[4日目] 釜山広域市・洛東江エコセンター（プラン発表会）

4

4 スケジュール

韓国4市道を舞台にフィールドワークを実施！

事前作業

- 韓国側フィールドワーク地に関する観光情報等の収集
- プランに組み込みたい観光施設等について韓国側と情報共有

日 程 <8月24日(土)～8月27日(火)>

	行程	備考
1日目	韓国側に渡航、歓迎夕食会	福岡空港発
2日目	フィールドワーク	韓国側4市道
3日目	フィールドワーク、プラン作成	〃
4日目	午前：移動、発表会（洛東江エコセンター）	釜山広域市
	午後：交流昼食会、帰国	福岡空港着

費用負担

- 各県集合場所から福岡空港までの交通費、往復の渡航費及び韓国における滞在費については、主催者側で負担
- パスポート取得費、その他個人的経費等については、参加者負担

5

問い合わせ先

【問い合わせ先】

日韓海峡沿岸県市道交流事業実行委員会 山口県事務局

〒753-8501 山口市滝町1-1

山口県観光スポーツ文化部国際課（担当：吉松）

電 話 083-933-2347

メールアドレス yoshimatsu.yasuhiro@pref.yamaguchi.lg.jp